

### 第5波における状況・対応

### 課題

自宅療養

- 自宅療養者の急増(8月末時点で、中等症Ⅱの患者52名が自宅療養)により、保健所での健康フォローアップ業務等がひっ迫
- 8月には、自宅療養していた患者3名が、病状急変により死亡する事案が発生
- 医師会、看護協会、薬剤師会等と連携し、各保健所に「自宅療養フォローアップセンター」を設置したものの往診や訪問看護の体制を構築できたのは一部地域のみ
- パルスオキシメーターを追加購入（計14,450個）必要に応じて食事及び衛生用品を配送したが、脱水症状や消化器症状に対応した食事の提供はできず

- ・ 地域の医療関係者と連携し、自宅療養フォローアップセンターを中心とした医療提供の仕組みづくり、体制強化のための支援が必要
- ・ 生活支援の内容改善、配送体制の強化が必要

## 【措置の実施】

- ・ 感染拡大の予兆を捉える**感染拡大防止アラート**を設定  
感染拡大防止アラート発動後は、**予め設定した基準により迅速に対策実施**、感染拡大を抑制する

## 【クラスター対応】

- ・ 保健所、県対策本部、厚生労働省クラスター対策班が連携してクラスターの早期収束を図る
- ・ 感染者急増時に備え保健所における疫学調査体制を強化
- ・ 学校・事業所等の協力を得て濃厚接触者等の特定を行い、民間検査機関を活用した接触者検査を実施
- ・ 高齢者施設等を対象とした研修を行い、ブレイクスルー感染事例の共有を図るとともに、感染対策の継続について改めて周知徹底

## 【外国人住民への対応】

外国人住民に、**正しい情報がわかりやすく、効果的に伝わる情報発信・啓発活動**

- ・ 県多言語情報提供ホームページ（MieInfo）等における多言語での情報提供の充実
- ・ 多文化共生に関わる市民団体の知見やネットワークを活用した啓発活動
- ・ みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）において、適切な情報提供、相談対応を行うため、保健所をはじめとする関係機関等との連携強化
- ・ 保健所への多言語支援を迅速に行えるよう、（公財）三重県国際交流財団へ協力を要請
- ・ 外国人を雇用する事業所に対して、抗原定性検査キットの積極的な活用を促し、感染者の早期発見、事業所における感染拡大防止を図る
- ・ **感染状況に応じ、学校や事業所等を通じた啓発を実施**

# レビュー ～情報提供～

## 第5波における状況・対応

## 課題

情報提供

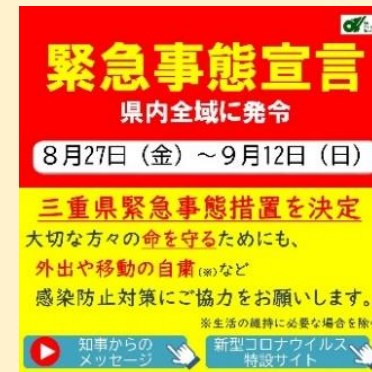
- 感染状況や県からの要請などについて、素早く幅広く届ける必要
- 感染状況に応じ、県民・事業者への呼びかけを実施
- 報道メディアを通じた情報提供**
- SNS（LINE、twitterなど）を通じた情報発信
- 多言語での情報発信（ホームページ、SNSなど）
- ホームページにおける情報発信（県特設ページ、ワクチン接種ポータルサイトの開設など）
- 若年層をターゲットとしたワクチン接種に関する動画作成
- 新聞広告、広報誌、フリーペーパー、業界誌等での啓発

- ・ **必要な情報が必要な人に迅速かつ確実に届く**ような取組が必要
- ・ より県民の理解を得られるよう**分かりやすい情報提供**が必要

# 第6波に向けた対策 ～情報提供～

○感染状況などの**現状**、医療提供体制等の**安心情報**、ワクチンの副反応等の**正しい情報**、感染状況に応じた**注意喚起**、県民・事業者の皆様への**県からの要請等**、**必要な情報が必要な人に時機を逸せず届くよう**、さまざまな媒体を用いて情報発信を行う

- ・知事から県民への呼びかけ
- ・**報道メディアを通じた情報提供**
- ・県ホームページを随時更新、最新の情報を掲載
- ・SNS活用した情報発信
- ・多言語での情報発信（ホームページ、SNSなど）



（LINEでの情報発信事例）

○感染状況に応じた行動を県民・事業者に促すため、**感染拡大防止アラートの発動や措置の実施基準を予め公表**、具体的に分かりやすく感染状況を伝えるため、**新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関別の確保病床数・入院患者数等を新たに公表**する

○県民に必要な情報が確実に届くよう、分かりやすい情報提供を行うとともに、引き続き積極的な情報発信を行う